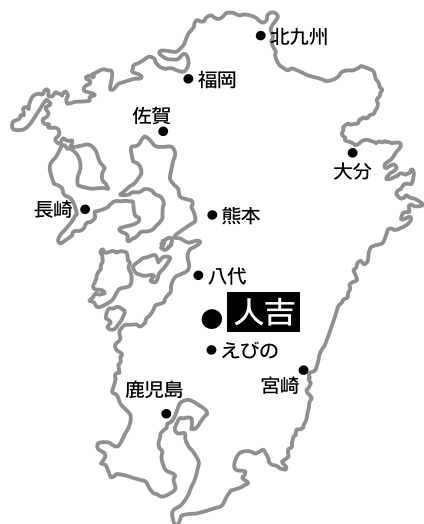


水が育む子どもたち

ー川遊びでの歓声と感謝ー

熊本県人吉市 あいだ保育園 園長 加登住 勝



人吉市は、九州の熊本県南部にあり、四方を山に囲まれ、中心を日本三大急流“球磨川”が東西に貫流しています。

あいだ保育園を取りまく環境は自然に恵まれ、球磨川の支流である“胸川”沿いに隣接する保育園として、長い間、川とのふれあいを続けてまいりました。

小さな子供たちが四季を通して、大小さまざまな石、急流の魚、よどみの魚、がたの生き物、流れ落ちる水に、河原や川で戯れ、素朴な中に貴重な体験をしています。この自然との営みは、“遊び”を豊かなものとし、感性豊かな子供、おおらかな子供に育んでいます。

またこの活動を通して、子供たちに河川・水に対する感謝の気持ちが芽生えています。

子供たちにとって日々楽しい活動の一端を、この川遊びを通して、ご紹介いたします。



ーあいだっ子の川遊びー

〈イラスト=保育士のらくがきから〉

水が育む子どもたち —川遊びでの歓声と感謝—

熊本県人吉市 あいだ保育園 園長 加登住 勝

春の遊び (4,5月)

堤防沿いの散歩コースは大好きなコース。
気になる場所のはのきこみ、河原にありられ
る場所、遊べそうな場所も見つけておく。

堤防沿いの草花や葉っぱを摘んで園や家庭
に持ち帰り飾ることも楽しみのひとつです。
ごみ拾いと道の確保も大切な作業のひとつ。



== 川を見ながら春の遠足ランラン ==

初夏の遊び (6,7月)



== さかなつかまえたよ ==

「つめたーい」
「あ、まーるい石、見ーつけた!」
「これ、われてるよ」
「ゴシゴシ、この石、色がつくよ!」

河原の粘土石でボティペインティング、葦の茂
みのよどみで体を洗いっこします。「この草背が
高いね」、「ほく、見えんど」「つかまってもこ
の草抜けん」とよ」ついでに水遊び。
あー気持ちいい。

あぶらめ・おいかわ(やんもと)などの稚魚。
ヌマエビ・沢ガニ・ドクラ・カワニナ他・昆虫の
幼虫など、いろいろいます。園に持ち帰り、飼育
ケースで飼って、大きくなったり、脱皮したりす
る不思議さを間近で観察し、春になったら元の場
所に返しにいきます。

「あれ、この前ここにメダカがいたのにあらんね!」
雨の多いこの時期は特に流れが変わります。川の
水の流れが変わると、小動物の生息場所も変わる
ことに自然と気づく。



== 葦(あし)の茂みで(7月初旬) ==

夏の遊び (7~9月)



== 只今休業中 ==

「うおー
水の力に負けないぞ」



== 流れや深みで遊ぶ ==

8月も中旬を過ぎると
川遊びも自信がつき遊び
がさらに大胆になり、フ
ールでは絶対体験できな
いことを楽しめます。



== 「あらーパンツが抜けちゃうよー」 ==
「この水で洗うと、シャンプーもリンスもいらんよ!」

== 通称“アイダガラ”の滝を背景に ==
川のせき堤も子どもたちには楽しい滝。



水が育む子どもたち —川遊びでの歓声と感謝—

熊本県人吉市 あいだ保育園 園長 加登住 勝

秋～冬の遊び

「川」とこの季節は少し縁遠くなります。しかしこのすばらしい自然をながめることを中心に触れ合いが続きます。活動としては次のようなものです。



- 川の流木を拾ってきて色をめったり、飾り物作り。
- コンクリート（斜面）のツルをつたってのぼったりおりたり…まさに大冒険。
- 草のツルを引っばってあそぶ、採ってクルクル巻いて、クリスマスのリース作りをしたり飾ったり…。
- 冬の河原であそぶ鳥を観察する（カモ・シラサギ・セキレイなど多くの野鳥と出会う。）
- 冬の川風を感じて堤防沿いを散策（氷・ツララをみつけることも驚きのひとつ。）

こうあったらもっといいなー

（子ども、保護者、職員ですべての作業を行っていますが、「こうあったらもっといいなー。」のつぶやき。）

- 特に夏場は川におりるまで草が茂り、子供には足場が悪いので除草していただくともっといいなー。
- 放り投げられたごみ、流れてくるごみ、キャンプ等での、バーベキュー後の燃えカス、犬のふんなどがなければいいなー。
- 「生活排水などで水質が悪くなってきているのでは？」と、心配する向きもあるので、簡単なデータが知りたいなー。
（当園では河川（胸川）の水質検査結果を入手し安全を確認した上で川遊びを実施している。）
- 保育園児など、小さい子供たちが、身近にあそべる自然のままの河川と、一体化した素敵な公園がほしい。また、胸川のような身近にあそべる河川が、だんだん失われつつあるので、小石があって、なだらかな浅瀬が残り、葦などがほどよくしげった自然と調和した川をどんどん残してほしいなー。

おわりに

本来、子供たちは水が大好きで、水を見ると手を伸ばして触れてみたくなるものです。しかし、その範囲は限られてきます。水道施設やプールなどの造られた所ではなく“自然の中にある水”にどんどん触れさせてあげるのは、周りにいる私たち大人の役目ではないかと思います。

「川は危ない所」「川は悪い所」「行っではダメよ」「あそんではダメよ」と拒否するばかりではなく、小さいうちから川に安全に接することで水に対する危険性を感じさせること、その中から水に慣れ親しむことができるはずです。また、年間を通しての河川・堤防での清掃、ごみ拾い活動は子ども達に水・川・自然に対する感謝の気持の芽ばえにつながっています。

自然が教えてくれるもの、与えてくれるものはたえようもなく雄大で、そして偉大で無限の広がりがあります。同じ場所でも日々そして季節により微妙な変化を感じさせ「あれ？」「どうして？」「なぜ？」とテレビや本などでは味わえない子供の興味・関心そして感性が芽生え、その一つ一つが科学する心や豊かな感性への芽生えへとつながっていくのではないかと思います。

保護者へのアンケートより（抜粋） ＜平成11年度在園児分＞

- (1) 子供たちが四季折々の自然に積極的にかかわって遊ぶことにどう思われますか。
アンケート提出 73人中（72人→賛成、1人→わからない）

日本のもつ“美しい四季”の中で育つ機会があるのに、家の中で遊ぶことが多く、なかなか体感させられないでいる。大いに自然を感じ、育てほしい。

日一日と色々な事を吸収し、成長の著しい中で、この時期この季節にしかできないことがたくさんある。自然の中で過ごすことが、心と体の成長にどれだけ役立つかを思うと、雄大な自然の中へどんどん連れ出して行くのに大賛成。

最近は温暖化等で旬の野菜の時期がこわれ、日本の四季もわかりにくくなりつつあるので、おとなが、意識して積極的に関わらせ、感じさせてあげたい。感性が育って行くことは、大変いいし、私たち大人にとっても、うらやましい。「春が来たんだな」「秋のおいがする」「冬の色だ」と感じまた草花、しいの実など摘んだものをおみやげに持ち帰ることはいいことだ。

周りに素晴らしい自然がたくさんあるのでじっとしているだけでは聞けない。出かけて行って触って感じてほしい。

- (2) 当園では、散歩・泥んこ遊び・砂遊び・川遊びなど太陽・土・水にかかわる保育を積極的に取り入れています。そういう環境の中で、あそぶ子供たちをどう思われますか。
73人中（72人→賛成、1人→わからない）

多忙などで自然から遠ざかりつつある家庭状況の中で、園で過ごす時間が長く、園で子供が本来一番好きな遊びをさせてもらい、また自然の中で道具なしであそぶ術を知っているのに感謝し、とてもありがたいと思う。

早期教育など目先にとらわれず、五感の刺激が必要なこの就学前に、一人一人の将来の『器』を大きく育ててもらって、ありがたいし、またうらやましい。

自分自身が“自然”を時々でも実感できるのは幼いころ自然と関わったからだと思う。
“自然を感じれるおとな”にわが子もなってほしい。自然の中で育った“あいだっ子”は、おとなになったら自分の子供とも自然の中で遊べ、世代を通じて伝わると思う。

- (3) 胸川へ連れて行って遊ばせていることについてご意見をお聞かせ下さい。
〔不安な面、保育面についてなどなんでも結構です。〕

（3歳以上児）

- ・球磨川、川辺川は少し遠いが、胸川は手軽に利用できる。
 - ・浅瀬がある・川に下りていける
 - ・アイダガラの滝があるなど
- ・親子で遊ぶのもいいが、自然の中で同年齢の子ども達と遊ぶことはとても深い意義があると思う。
- ・スリル+楽しさが味わえる一どのくらいからが危ないか身をもって知る（ヌルヌル・水の流れ・水の勢い…など）

（2歳未満児）

- ・楽しさ、怖さを感じることはすばらしい。
- ・どこでもできることではないのでぜひ経験させてほしい。
- ・いつもと違う“自然と向き合う子どもの姿”を見ることができる。
- ・小さい子ども達の川でのあそび方をぜひ教えてほしい。

水が育む子どもたち —川遊びでの歓声と感謝—

熊本県人吉市 あいだ保育園 園長 加登住 勝

≡ 保育園の特徴的な活動紹介 ≡



(クリスマス会)

オーケストラと
共に♪子どもたちの歌声が
ひびきわたります。(子どもミュージカル
サウンド オブ ミュージック)

日常行事 親子見知り遠足・運動会・発表会・夏祭り・
お誕生会・園外保育・登山・キャンプ・
いちご狩り・芋ほり・クッキー作り・
もちつき・卒園旅行・お年寄りとのふれあいデー・
子育て支援センターの開設などなど

ひたまりYUKA!えほん館
(ゆか(あ)いだ)えほんの好きな子どもに育み
ます。0才児から読み聞かせ
5才児には長いお話の読み聞
かせまで。夕方はえほん館で
お迎えを楽しく待ちます。

あいだ農園

四季折々の野菜、くだものを
植え、収穫を楽しみます。給
食の食材に大活躍。おばあち
ゃん、おじいちゃんの応援に
感謝。

〈イラスト=保育士のらくがきから〉